

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
健康診査事業	504		01	01	一般会計
			04	04	衛生費
基本施策	1	10万市民の健康を維持する	01	01	保健衛生費
			01	01	保健衛生総務費
担当部課名	伊賀支所健康福祉課		102	102	保健事業
作成者氏名	福永保	連絡先	45-9105	04	健康診査事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	概ね40歳以上の市民で、他で健診を受ける機会のない方	基本健康診査、ウイルス肝炎検査の実施により疾病を早期に発見し、早期治療を開始することで、疾病の重症化を防ぐとともに、自らの生活を振り返り、健康を阻害している要因について考え、生活改善を図ることで、より健康な生活を送ることができます。			
本年度事業内容	1) 基本健康診査の実施 ①対象者 40歳以上の方                      ②受診方法 医療機関において個別受診 ③個人負担 70歳以上の方、老人保健医療対象者、生活保護家庭の方は無料、その他の方は2,000円 2) 肝炎ウイルス検査 ①対象者 5年刻みの節目年齢の方とハイリスク者                      ②受診方法 基本健康診査と同時実施 ③個人負担 70歳以上の方、老人保健医療対象者、生活保護家庭の方は無料、その他の方は1,200円 3) 成人歯科健康診査                      ①20以上の方                      ②受診方法 歯科医院にて個別受診 ③個人負担 70歳以上の方、老人保健医療対象者、生活保護家庭の方は無料、その他の方は500円				
開始年度	昭和 58 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	老人保健法

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	110	47	47
需用費	86	47	47
役務費	24		
その他			
合計(A+B)	1,550	1,487	1,487
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	1,550	1,487	1,487
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
基本健康診査受診者数(伊賀市全体)	人	11,850	12,550	13,250			
肝炎ウイルス検査受診者数(伊賀市全体)	人	1,301	0	0			
成人歯科健康診査受診者数(伊賀市全体)	人	99	120	150			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
基本健康診査受診率(伊賀市全体)	健診対象人口に係数をかけたもの(職場等で検診の機会がある人を除くため)を分母とし、受診者数を分子としてその率を指標としました。	%	47.6 目標 ( 45 )	50.0	53.0
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

基本健康診査は合併とともに、それまで集団健診方式と個別受診方式が混在していたものを、個別受診方式一本に統一しました。個別受診方式は、かかりつけの医師のもとで健診が実施できること、健診の結果、医療が必要となった時スムーズに治療につながるというメリットがあります。肝炎ウイルス検査は18年度が国の肝炎対策の最終年にあたるため、18年度で事業は終了します。また成人歯科健康診査は、予防的に歯科を受診するという意識が今だ低く、受診者数がなかなか増加しませんが、歯の健康は健康で長生きするための一つの条件でもあり、今後も地道に啓発を行う必要があります。

評価	必要性	4	総合評価
	有効性	3	
	達成度	3	
	効率性	3	
老人保健法に基づいて実施される保健事業の一つであり、今後とも医師会、歯科医師会の協力を得ながら継続をしていきます。しかし、基本健康診査については、定期的に生活習慣病で受診をしている、本来であれば健診の対象から外れる方の受診がかなりあり、健診の効率的実施について検討をする必要があります。			A